

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2004年12月25日

51号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市北区下町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

心配される障害者福祉のこれから

グランドデザインで明るい未来が築けるのか？

足元にカラカラと舞う落ち葉に空気の乾きを感じますが、12月は人をやさしくする時でもあるようにおもいます。

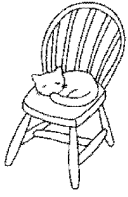
困っている人に少しでもと募金をしたり、チャリティーのイベントがあつたり、お世話になった人や大切な人にプレゼントを選んだり、忙しさでつい疎遠になっている友を思い便りをしたり... クリスマスカラーの赤と深い緑は、お正月花にも通じるものがあつて、私たちの心を和ませてくれます。

にもかかわらず、ここ数年この季節は（と言うよりは一年中なのですが）、新たなそれも大きな問題を抱え研修やら会議やら、頭を痛めることの多い日々なのです。支援費制度を巡る議論、在宅援護協会と社会福祉協議会の一体化の議論、そして今年は介護保険制度の見直しと障害者福祉制度の改革プランいわゆるグランドデザインです。

「措置から契約」へと言う鳴り物入りの改革だったはずの支援費制度に、ある人達は喜んで、またある人達はしぶしぶ納得し、やっと慣れてきたころ、国は膨大な赤字が出て、その計算違いに気がついたので。もともと福祉のニーズをその程度にしか考えられなかったことに問題があるのだと大きな憤りを感じますが、障害当事者や現場の職員や運営者たちは、とまどうばかりです。福祉予算抑制のための“改革”の中身について、よく知り可能な限りの声をあげていかねばなりません、まだ全貌をあらわしていません。

介護保険との統合は、障害者団体の働きかけと、財界などの介護保険の徴収年齢の引き下げ反対の動きで2006年の改正はなくなったと報じられていますが、今後は、よりいっそう支援費の単価切り下げや、これまでの利用者が所得に応じて払う「応能負担」から、サービス利用量に応じて払う「応益負担」へと自己負担の導入がすすめられようとしています。重い障害を持ちながら地域で生きる人達にとってはますます厳しい状況になりそうです。

グランドデザインについては、また重度障害者にとってどう影響するのか来春から学習していきたいと思っておりますのでご参加ください。



陽だまり

福島 網子

「おはようございます」(こんにちは)と言いながらドアを開けると、奥の方から「だあれ」という声が聞こえて来ます。そんな挨拶で始まる「よつばホーム」へヘルパーとして入らせて頂いて2年3ヶ月経ちました。立ち上げたばかりの皆さんの緊張感も今は消え、すっかり落ち着かれ、しっかりとグループホームの住人となられたようです。活動ホームがお休みの日は外出をなさるまでになり、生活に幅が出来たように感じられます。

ある時「あなたの気持ち」と言うテーマで書く機会がちょっとありました折、常に思っております「藤田さん、何を考えているの?」という気持ちからグループホームの事を書かせて頂きました。それに対し「大いに啓発させられました」の評を頂き、三大新聞社の重責にあった新聞記者ですら専門外の事や関心の薄い事は意外と知られていない事を痛感いたしました。地元でも残念ながら未だ存在すら知らない方もいらっしゃると思います。これからはX'マス等何かの行事にホームの中にご招待し交流を計るなど、一歩進んだ活動がなされれば、地元との更なる深い絆が結ばれ、地元根づくグループホームとなって行くのではないのでしょうか。

ささやかですが のお手伝いとしての発信地でありたいと思っております。

隣の家のワンチャンのかわいい鳴き声が聞こえる陽だまりの中のグループホームを今日も皆さん元気に出勤(?)いたしました。

楽しかった花陽の会コンサート

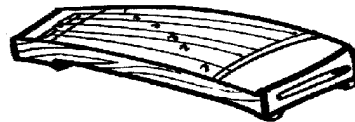
12月4日の午後ラポールシアターで今年も花陽の会の皆さんによって、グループホームを支援するためのチャリティーコンサートが開かれました。花陽の会は箏を中心として尺八、三味線などの邦楽器の演奏家の集まりです。

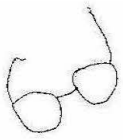
代表の三上園東巳さんは、私たちの会員としていつも一緒に活動していただいている方です。今年『日本民謡組曲』など、皆さんによく知られた楽しい曲を2時間に亘って聞かせてくださいました。普段邦楽になじみが薄くなりかけた若い人達や、障害をもった人達もその典雅な音色にひき込まれてうっとりとしたひと時を楽しみました。

最後にみんなで箏に合わせて「涙そうそう」を歌って、なごりおしく終わりました。

この演奏会による収益の一部を『地域で生きる障害者を支える会』にご寄付いただきました。

心からお礼申し上げます。





めがねの声

この前 横浜のグループホーム連絡会の 室津さんの お話を聞きました。
中区で クループホームが はじまったころのお話や 生活のようすなどを話されました。
メンバーの中でも 重い障害の人は 色で曜日や予定を見たり ハト時計の音で時を知ったり
テレビ電話をつかったり 工夫をして 生活していくようすが わかりました。
グループホームが はじまったころは みんな家に帰ると 疲れてポーとしていたり 体調がくず
れて 風邪をひきやすくなったりしたそうです。
私のグループホームの 皆も同じだなと 思いました。
生活だから疲れることもあるし ずっと楽しいばかりではない。生活はそういうものだから ホーム
もゆっくりと出来たり ホットしたりしたいところだと言っていました。
自分に 合せて生活して 話したいときには仲間がいて 一人ぼっちではない。私も そう思いま
すが ただ 皆で明るい生活はしたいなと思いました。

今は たくさんのグループホームが出来て 重い障害の人のことのも 考えるようになって来たな
と 思います。

今 話題になっている 国の福祉改革グランドデザインのお話しも聞きました。

私は この前 石渡先生のお話しも聞いて 2度目でしたが ちょっとよくわかりません。ただ
3回も4回も 聞けばわかるのかな～と思います。
いろいろ変わる事の中で デイサービスや ヘルパーさんなどを頼むときの 自己負担金が出て
来て サービスを たくさん使わなければならない人ほど お金がたくさんかかる というのは
重い障害の人は 困るなと思います。

私だって 新しいパソコンや プリンターがほしかったり 皆と旅行にも行きたいし などと・・・
でも このままだと障害者の暮らしは 厳しそうだな！

大原 友子

ご入会、ご継続 ありがとうございます

《賛助会員》

[敬称略]

神代 孝子 小川 智美 小川 昌幸 金子 正雄 石井 正雄

[16年12月20日現在]

《ご寄付》

花陽の会様より ¥147,000

今月のよつばホーム



よつばホーム

いつの間にか年末を迎えて、みんなで「早いネェ！」と口をそろえて言っています。

1館目の年末は、クリスマスの準備と年賀状書きでみなさんそれぞれ忙しく過ごしているようです。

クリスマスはミニパーティーが恒例となっていて、今年もかなり早い時期にクリスマスケーキを予約しました。

そしてクリスマスが過ぎれば、年明けまでは本当にあっという間です。

福田さんと高島さんは、しもだから帰宅してからの夕方や朝の出発前の時間をうまく活用し、一生懸命年賀状を書いています。

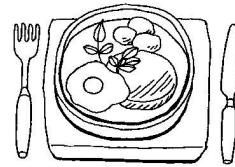
2005年もよつばにとっていい年になりますように！

第2よつばホーム

今月はグループホームとは話がズレますが、私が最近よく聴いている歌を紹介します。

「チキンライス」

親孝行って何って考える でもそれを考えようとするのがもう
親孝行なのかもしれない
子供の頃たまに家族で外食 いつも頼んでいたのはチキンライス
豪華なもの頼めば二度とつれてきては もらえないような気がして
親に気を使っていたあんな気持ち 今の子供に理解できるのかな？
今日はクリスマス 街はにぎやか お祭り騒ぎ
七面鳥はやっぱり照れる 俺はまだまだチキンライスでいいや



切ない歌ですよ。でもなんとなく温かくて懐かしい…

2歳になるうちの子も「考えるの歌」とリクエストしてきます。

皆さんも機会があれば聴いてみて下さい。

